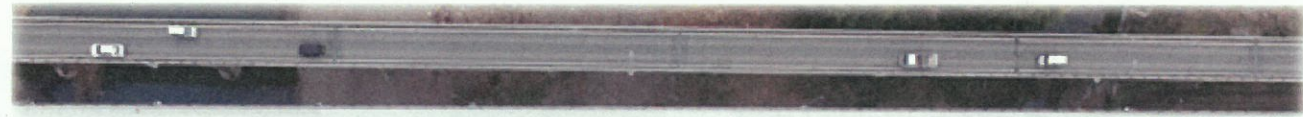
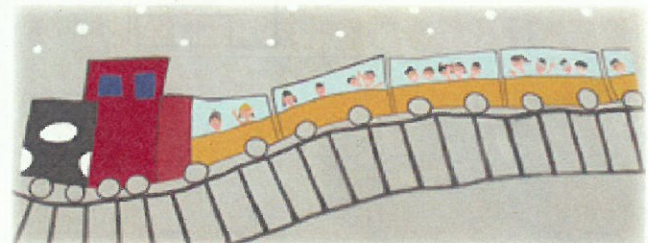


亀岡の春夏秋冬



亀岡の春

亀岡の夏



亀岡の秋

亀岡の冬

●新型コロナウイルスの影響により、予定していた完成イベントは残念ながら中止となりましたが、亀岡川東学園・保津小学校の先生方、京都府・亀岡市職員、施工会社と記念の絵を描き上げました。この絵は亀岡川東学園・保津小学校の子供たちや先生方が考えてくれた絵です。亀岡の春夏秋冬をテーマにし、トロッコ列車の線路でそれぞれの絵を繋ぎ一枚の作品にしています。

位置図



桂川右岸下流側から宇津根橋を望む

一般府道 郷ノ口余部線

う つ ね は し 宇津根橋

京都府亀岡市河原林町～宇津根町地内

令和4年2月



京都府

京都府建設交通部道路建設課
〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町
TEL 075-414-5252

京都府南丹土木事務所
〒622-0041
南丹市園部町小山東町藤ノ木21
TEL 0771-62-0362

事業の概要

- 路線名 一般府道郷ノ口余部線
- 施工区間 亀岡市河原林町～宇津根町
- 事業着手 平成26年度
- 延長 事業延長 700m
- 構造形式 橋長 267m
車道幅員6.5m+自歩道幅員3.0m
PC6径間連結
ポストテンション方式バルブT桁橋

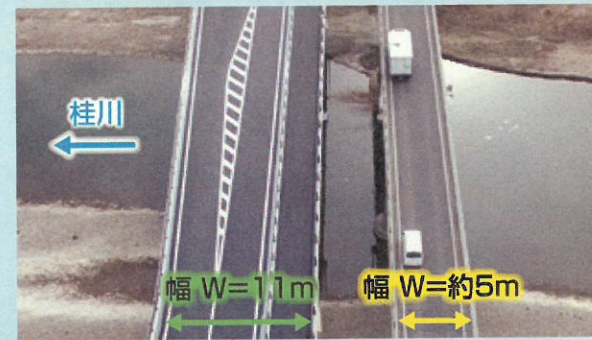
事業の効果

安全な通行空間の確保

道路を約5mから11mに拡幅し、歩道を設置することで安全な通行空間を確保します。



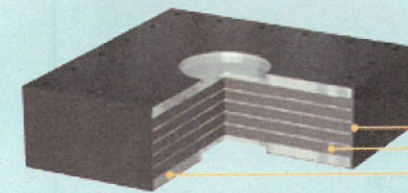
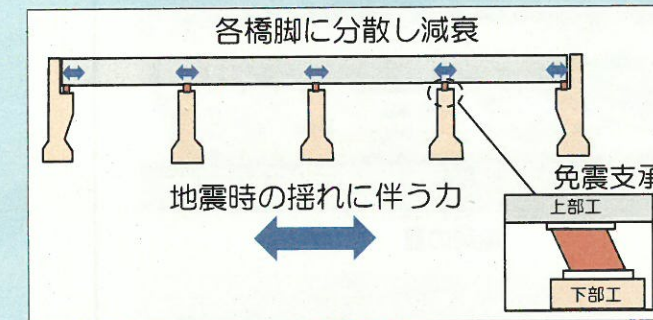
現道の状況(道路幅に余裕がない)



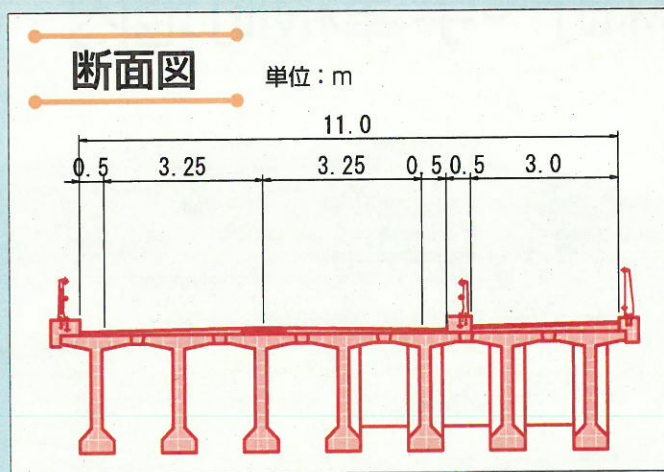
新旧の宇津根橋

災害時の信頼性向上

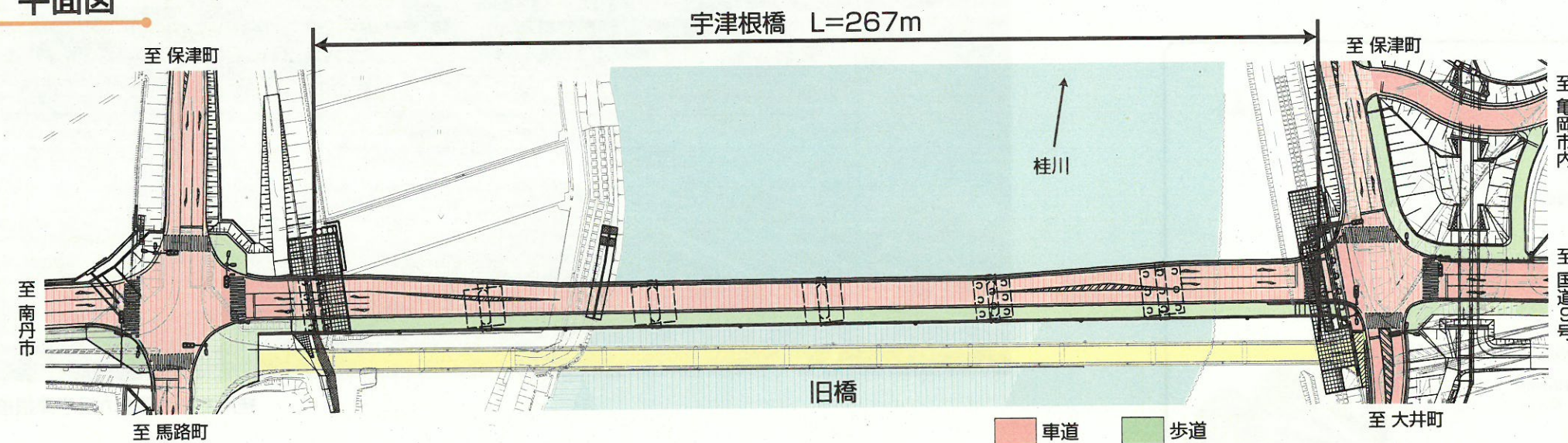
新しい宇津根橋は免震支承を採用し、地震時の揺れに伴う力を各橋脚に分散して減衰させる構造としており、大地震に強い橋となっています。これにより災害時の信頼性を向上します。



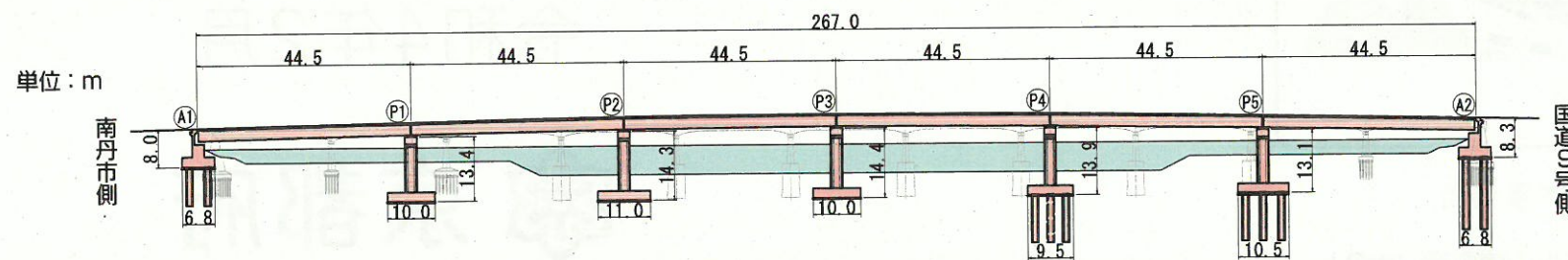
免震ゴム支承(超高減衰ゴム支承)



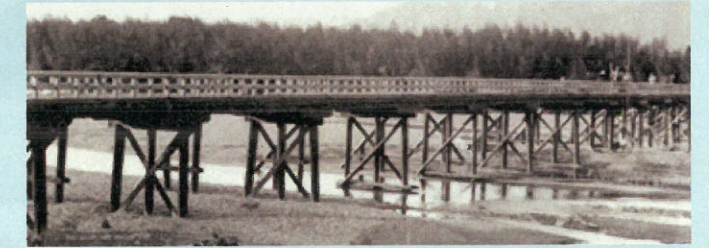
平面図



側面図



宇津根橋の歴史



【明治末期撮影 木橋の宇津根橋】

宇津根地域は筏(いかだ)の中間駅であり亀山藩の材木運上場として有名でした。桂川上流から運んで来た木材等をこの宇津根橋で舟渡していたそうです。



【昭和30年頃撮影 暫定供用時の宇津根橋】

昭和26年の風水害により木橋の半分が流出しました。流出した右岸から半分をコンクリート橋で復旧しましたが、残り半分は木橋のままでした。当時、木橋部分に来るとバスの乗客は降り、徒歩で橋を渡っていたそうです。その後、昭和33年度に念願の全体がコンクリート橋となった宇津根橋が完成し、地域住民の大きな喜びとなりました。

工事写真



▲下部工コンクリート打設状況



▲上部工架設状況